

## ひと夏の経験

校長 相川 保 敏

長い夏休みが終わりました。オリンピックに続き、パラリンピックが開催されていますが、今年の夏は猛暑が続いたばかりでなく、南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）や台風などで、いつもとは違う夏休みであったのではないのでしょうか。

例年行われている夏休み中の行事や研修のうち国内語学研修は台風の影響により中止なってしまいましたが、他は予定通りに行うことができました。まずは夏休み当初の校外学習の様子をお伝えいたします。4年生は1泊2日、5・6年生は2泊3日の校外学習に出かけました。

まず、4年生はネイティブ英語講師とともに7月22・23日に「郡上の生活」に出かけました。1日目は河川環境楽園で川の水質汚染の学習、食品サンプルづくり、大滝鍾乳洞見学、夜はネイティブ英語講師による英語アクティビティと盛りだくさんな一日を過ごしました。2日目は昨年度にはなかったうちわ作り、うどん作りを行いました。どの活動時にも英語講師と積極的に英語で話している様子が見られました。



5年生は7月17～19日に「琵琶湖畔の生活」を行いました。1日目は、昨年度も取り組んだ手びねりによる信楽焼陶芸体験を行い、全員がオリジナルの作品を完成させました。その後は、琵琶湖博物館の見学、夜は琵琶湖博物館新聞づくりを行いました。2日目は、英語講師陣11人とともに英語でのコミュニケーションを多く取りながら一緒に飯ごう炊飯、カレー作り、アクティビティ、キャン



プファイヤーを行いました。英語漬けの一日となりました。最終日は、野菜を自ら収穫し洗って切って、みんなでバーベキューを楽しみました。

6年生は5年生と同日に「諏訪湖の生活」を行いました。私は昨年を引き続いて同行いたしました。1日目は牧場でのアイスクリーム作り、2日目は昨年度も好評であったグループ単位で農家に分散する農村体験を行いました。地元の農家の方々にご協力をいただき、野菜や果物の収穫、箱詰め、雑草抜き、収穫したのものを使った調理などグループ毎に異なる体験を行いました。高原の澄み渡った青空の下で体を動かしながら、自然と共生する農家の人々の生活を学びました。3日目は、昨年度にはなかった諏訪湖汽船の乗船、諏訪大社の参詣を行いました。



3学年とも仲間と一緒に、忘れられない思い出をつくとともに、少したくましくなって帰ってきました。

その他に、本年度もシンガポール親子留学、オーストラリア語学研修、ターム留学が実施されました。私はオーストラリア語学研修に付き添いました。環境の違い、文化の違いを肌で感じてきました。その中で、オーストラリアの子どもたちの主体性・積極性に大変驚きました。オーストラリアの子に負けないような姿勢をどうしたら身に付けられるのか、考えさせられました。

子どもだけでなくわれわれ教員もこうした夏の貴重な体験をこれからの学校生活・学校教育に生かしていけるように努めていきます。

さて、9月の生活目標は「マナーについて考えよう」です。夏休みの経験を通して、自分だけでなく周りも見るようになるようになった子も多くいると思います。多様化の進展により求められる「マナー」も変化してきますが、普遍的な「マナー」は存在すると思います。ご家庭でも一緒に考えていただければ幸いです。